

## 松川第一応急仮設住宅



食品科学科の生徒6人と集会所で交流しました

福島明成高校の生徒6人が、バレンタインデーに合わせて4つの仮設住宅に特製のバウムクーヘンを届けました。同校は、授業の一環で、洋菓子店「バウムラボ樹楽里」と商品開発を行っていて、その収益と同店の協力による4年連続の贈り物です。松川第一応急仮設住宅の集会所では、住民代表が、このバウムクーヘンを生徒と一緒に味わい、笑顔で感謝を伝えました。



バウムクーヘンはチョコレート味



「学校で作る米や卵を使っているんですよ」「よくできているね」

喜んでいただけてうれしいです！  
うん、うまいな～

2/13

2/3

アルバム たがる

2/20

2/11

## 飯館村社会福祉協議会

福島市飯野町に事務所を置いてきた村社会福祉協議会が、避難指示解除を前に、伊丹沢地区の「陽だまりの家」に移転します。移転再開は3月6日からで、その後も、帰還する村民、避難を続ける村民の双方に寄り添う取り組みを続けます。生活相談員の緑川史子さんは「村の皆さんのコミュニケーションを図る大切な場です。これからも気軽に来ていただきたいです」と話していました。



約6年に及ぶ活動の足跡を箱詰めします

新事務所となる「陽だまりの家」。「いちばん館」に隣接しています



長期間お借りした「いいの交流館」。地域への感謝の思いは尽きません

## 松川第二応急仮設住宅



寄り添いながら避難生活を乗り越えてきた仲間です

仮設住宅老人クラブが主体の「第二の会（菅野益夫会長／関根・松塚）」は、年齢制限なしの催しで、住民の親交を深めてきました。避難指示解除を前に、復興公営住宅や、建て替えた自宅に移る人が増えてきたことから、この日は、歌手の藤田征人さん（前田・八和木）らをゲストに招き、新生活に進む仲間の送別会を開催。昼食には、自治会特製の「元気汁」も振る舞い、共に過ごした日々を皆で振り返りました。

藤華新流澄美れ会の皆さんは、艶やかな舞踊で、会に華を添えました



おいおいカラダはだいじよぶか～

口からテープをずるずる

軽妙なトークも楽しい中島真一さん（比曾出身）のマジックショー

## やまゆり保育所



自分で作ったお面をつけて、かわいい鬼が勢ぞろい

やまゆり保育所で、節分の豆まきが行われました。自作の鬼の面でホールに登場した子ども達は、「鬼は外、福は内」と童謡「まめまき」を歌い、「お腹の中の怒りんぼ鬼や、いじわる鬼をやっつけよう」と豆まきに臨みました。先生方が準備したのは、小さな手でも投げやすい紙製の豆。子ども達は、その豆を手にも、壁に貼られた鬼と大バトルを繰り広げ、お腹の鬼を一掃しました。



恵方巻きにちなんだ太巻きがおいしそう。食べやすいよう刻みのりで巻きました



至近距離からバシバシ攻撃。力を合わせて鬼をやっつけろ！



「おも～」「ハンバーグ～」と子ども達。「いいえ、大きいですけど、これは豆ですよ～」と先生